



① 農家の経営改善につなげる訪問・提案活動

作付・経営意向調査から、営農・経済センター担当職員が農家台帳システムを活用してアプローチ方針を決定し、訪問活動を行っています(センターごとの活動状況は下表のとおり)。

◀生産者(写真:奥)にアポイントメントを取って訪問。提案を説明するJA職員

アプローチ方針別 提案・採択件数

アプローチ方針	グリーンプラザ		第一集出荷C		山武KC		やさいの里EC		成東KC		東金KC		大網KC		芝山KC	
	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数	提案件数	採択件数
作付・作型の拡大	1件				1件				2件	2件						
品目提案・新規作付	4件	2件			2件	1件	3件	1件	3件	1件	3件	1件	1件	1件	1件	1件
労働力支援(ヘルパー)											1件					
労働力支援(実習生)							1件									
販路拡大	2件	1件			2件	2件	2件		1件				5件	2件		
栽培技術支援	7件	6件	2件	1件			8件	4件	3件	2件	1件	1件	3件		8件	
機械導入・融資提案					1件				2件	1件						
経営相談・改善	1件				1件	1件	2件	1件					1件	1件	2件	2件
その他	1件	1件	5件	3件			5件	3件	2件	2件	3件					
合計	16件	10件	7件	4件	7件	4件	21件	9件	13件	8件	8件	2件	10件	4件	11件	3件

② 栽培・出荷管理システムの構築

生産者がスマートフォンで簡単に農作業を記録し、振り返ることで栽培に活かします。また、記録簿をシステムでJAに提出できるようにすることで、生産者とJAの手間を減らすことを目指しています。2020年からシステム構築の協議を開始し、昨年はモニター農家の協力で試行実験を行いました。



若手のモニター農家にWeb会議で試行実験の内容を説明▶



- ✓ 作業日誌はスマホで記録
- ✓ 農薬使用履歴もスマホで記録
- ✓ 去年の記録をいつでも確認
- ✓ 記録簿はそのままJAに提出

(農業振興計画2016の実践)

〈2021年度の活動を報告します〉

訪問活動における打ち手(対応策)の採択は36戸!!



農業振興計画2016の実践状況をご報告します。2021年度の農業所得向上に向けた訪問・提案活動はコロナ禍のため、農家にアポイントメントを取っての活動となりました。このため、経営実態ヒアリングは実施せず、これまでの支援対象農家から75戸を選定し、経営シミュレーションを活用した作付拡大などを提案しました。この結果36戸がJAからの提案を採択しました。また、スマート農業が拡大を見せる中、株式会社ぐるなびと連携し、多様な担い手に対応するため「栽培・出荷管理システム」の構築に向け、モニター農家を募集するなどの取り組みを開始しました。

打ち手(対応策)対象農家75戸に対して36戸から44件の提案が採択されました。

【実績】	2021年	2020年	2019年
作付・経営意向調査	961戸	1036戸	840戸
経営実態ヒアリング	※	205戸	114戸
打ち手提案	75戸	90戸	53戸
提案採択	36戸	31戸	30戸

※訪問自粛によりヒアリングは未実施

【採択内容の詳細】	2021年	2020年	2019年
作付・作型の拡大	2件	4件	6件
品目提案・新規作付	8件	9件	17件
労働力支援(農作業ヘルパー)		1件	1件
販路拡大	5件		1件
栽培技術支援	14件	15件	16件
機械導入・融資提案	1件		
経営相談・改善	5件		
その他	9件	6件	5件

44件

2021年度の取り組み

- ① 農家の経営改善につなげる訪問・提案活動
 - 農家台帳システムを活用した打ち手対象農家の選定と「農家の経営改善」に関する打ち手の提案
- ② 栽培・出荷管理システムの構築
 - 栽培・出荷管理システム「ぐるなびアグリサービス」を活用した生産履歴簿のデジタル化と販売促進に関する実験 ※詳細は左ページに掲載

提案・訪問活動のサイクル

